

**中学校運動部活動の地域移行に係る
地域スポーツ団体の活動状況・意向等調査について（基本版）**

京都市部活動の地域移行に向けた推進チーム
担 当：京都市文化市民局市民スポーツ振興室
長谷川、三嶋
電 話：０７５－２２２－３１３４（平日９～１７時）
ＦＡＸ：０７５－２１３－３３６７
メール：sports@city.kyoto.lg.jp

平素は本市スポーツ行政に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和２年９月に、持続可能な部活動と教員の負担軽減の両方を実現するため、中学校における休日の部活動について、令和５年度以降、段階的に地域のスポーツ活動へ移行することが、国（文部科学省）から示されました。これを踏まえ、地域移行の着実な実施とともに、地域におけるスポーツ環境を整備し、子供たちがそれぞれに適した環境でスポーツに親しめる社会を構築することを目的に、令和３年１０月に国において「運動部活動の地域移行に関する検討会議」が設置され、運動部活動の地域における受皿整備をはじめとする改革の方向性や各種課題への対応等について、令和４年６月に国に対し提言が提出されました。

当該提言を踏まえ、令和４年１２月には国（スポーツ庁・文化庁）から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が公表されました。

その中で、学校部活動の地域移行は、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」という意識の下で、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境の一体的な整備により、地域の実情に応じスポーツ活動の最適化を図り、体験格差を解消することを目指すものとの考え方が示されたところです。

また、京都市においては、少子化が進む中で、これまでから教育委員会において、複数校の部が合同で活動する仕組みや、在籍する学校に希望する部活動がなくても他校の部活動に参加できる仕組みを整えるとともに、部活動の顧問として技術的な指導を行う「部活動指導員」等の配置を行うなど、部活動の充実と教員の負担軽減に努めてきたところです。

併せて、休日部活動の地域移行に向け、令和３年度からモデル事業の実施に取り組むとともに、令和４年１１月には、関係部局で構成する庁内組織を設置し、課題整理や具体的な検討に着手したところです。

今後におきましては、京都市の実情に応じ、関係者の皆様の御理解と御協力をいただきながら、生徒や地域の豊かなスポーツ活動を実現していきたく、この度、各地域スポーツ団体の皆様に対し、活動の現状などのほか、各団体活動への中学生の受入れや各指導者の皆様による中学校運動部活動指導について、現時点での意向と課題などをお伺いするアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

皆様から頂戴いたします御回答、御意見は、今後の取組に当たっての貴重な情報と考えておりますので、お忙しいところ恐れ入りますが、何卒、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

(回答様式)

1 貴団体について

(記入年月日：令和5年 月 日)

貴団体名 ←送付先によって変える
()
担当者名
()
電話番号
()
メールアドレス
()

※ アンケートの回答内容等について、こちらからお問合せさせていただく場合がございます。御協力よろしくお願いいたします。

アンケートの集計結果については公表する予定ですが、特定の団体の回答内容が分かるような公表はしません。

※ 注記のない設問はすべて令和5年4月1日現在の状況をお答えください。

※ 本アンケートは、各団体の代表の方がご記入いただきますようお願いいたします。

2 貴団体・チームの現在の活動状況について

(1) 対象競技種目(複数の場合は、全てチェックしてください)。

性別は男子のみ対象→☒男 女子のみ対象→☒女 男女とも対象→☒男・☒女

☐バスケットボール(男・女) ☐サッカー(男・女) ☐野球(ボールの種類問わず)(男・女) ☐ラグビー(男・女) ☐テニス(軟式含む)(男・女)

☐陸上競技(男・女) ☐卓球(男・女) ☐バレーボール(男・女)

☐バドミントン(男・女) ☐柔道(男・女) ☐剣道(男・女)

☐弓道(男・女) ☐水泳(男・女) ☐ソフトボール(男・女)

☐上記以外()

(2) 所属人数(指導者は含まない)

※可能な限り、令和5年春の新規入団生を含んだ人数で回答ください。

☐0～9人 ☐10～29人 ☐30～49人 ☐50～79人 ☐80人以上

(3) 指導者の人数(監督・コーチ等名称は問いません)

☐1人 ☐2人 ☐3人 ☐4～9人 ☐10人以上

- 3

(9) 対象世代（複数の世代を対象とされている場合は全てチェックしてください）

☐小学生未満 ☐小学生 ☐中学生 ☐高校生 ☐大学生 ☐社会人

中学生にチェックされた場合 (10)-(12)要回答

中学生にチェックされなかった場合 (10)-(12)回答不要

(10) 中学生の所属人数

※可能な限り、令和5年春の新規入団生を含んだ人数で回答ください。

☐0～9人 ☐10～29人 ☐30～49人 ☐50～79人 ☐80人以上

(11) 所属中学生の主な居住区（複数回答可。概ねの範囲で構いません。調査・聞き取り等は不要です。）

☐京都市内

☐北区 ☐上京区 ☐左京区 ☐中京区 ☐東山区 ☐山科区 ☐下京区

☐南区 ☐右京区（京北除く）☐京北 ☐西京区 ☐伏見区（深草・醍醐除く）

☐伏見区深草 ☐伏見区醍醐

☐京都市以外（ ）

(12) 所属中学生からの会費（月謝）の徴集状況

☐徴集していない

☐徴集している

☐～1,000円 ☐1,001～2,000円 ☐2,001円～3,000円 ☐3,001～5,000円

☐5,001円～

※会費の徴収が月単位でない場合は月額に換算して回答してください。

入会費や諸経費は含みません。

3 貴団体・チームへの中学生の受入に対する今後の意向

(1) 2-(9)で「中学生を対象に含む」と回答された団体にお伺いいたします。

ア 中学生の受入規模の増減について今後の意向をお答えください。

- ☐ ①現状の規模を維持したい
- ☐ ②現状において追加受入が可能であり受入人数を拡大したい
- ☐ ③課題が解決できれば受入人数を拡大したい
- ☐ ④受入人数を縮小したい
- ☐ ⑤受入を休廃止したい
- ☐ ⑥現段階では分からない
- ☐ ⑦その他 ()

イ アにおいて③と回答された団体にお伺いいたします。受入拡大に向けてどのような点が課題とされていますか。(複数回答可)

- ☐ 指導者の量の確保
- ☐ 指導者の質の向上
- ☐ 活動場所の確保
- ☐ 中学校運動部活動からの円滑な移行
- ☐ その他 ()

ウ アにおいて④又は⑤と回答された団体にお伺いいたします。よろしければ理由をお答えください。

(理由：)

(2) 2-(9)で「中学生を対象に含まない」と回答された団体にお伺いいたします。

ア 中学生の新規受入について今後の意向をお答えください。

- ☐ ①新規受入が可能な状況にあり、前向きに検討している
- ☐ ②課題が解決できるようであれば、前向きに検討したい
- ☐ ③新規受入をするつもりはない又は新規受入は困難
- ☐ ④その他 ()

イ アにおいて②と回答された団体にお伺いいたします。新規受入に向けてどのような点が課題とされていますか。(複数回答可)

- ☐ 指導者の量の確保
- ☐ 指導者の質の向上
- ☐ 活動場所の確保
- ☐ 中学校運動部活動からの円滑な移行
- ☐ 中学生規格の設備の導入
- ☐ その他 ()

ウ アにおいて③と回答された団体にお伺いいたします。よろしければ理由をお答えください。

(理由：)

(3) 京都市における令和5年度モデル事業への参画意向

京都市では、これまで取り組んできた部活動地域移行に向けた実践研究事業を拡充し、令和5年度は新たに、10校20部活程度の運営を地域スポーツ団体等に委託する予定です。そこでお伺いいたします。

委託条件（予定）

- ・対象：休日の運動部活動（原則、土・日どちらか1日及び祝日）
- ・期間：概ね令和5年9月～2月を予定
- ・活動時間：1日あたり、3時間程度を上限。
- ・指導者謝礼：1時間あたり 1,800円／人
- ・運営上の留意点：京都市中学校部活動ガイドラインの遵守

【注】部活動の地域移行の形態は様々なものが想定されます。このため、以下に例として掲げる事項などについては、参画の検討意向を示していただいた団体の意向や、実践研究事業としての妥当性に対する本市の判断などを踏まえ、今後詳細を調整・検討していく予定です。

（今後詳細を調整・検討する事項例）

- ・1団体に対して委託する学校・部活動の規模
- ・部活動実施時の指導者の配置人員
- ・部活動実施場所
- ・学校の生徒と地域スポーツ団体に所属する生徒との合同練習 など

ア 当該事業へ参画する意向はありますでしょうか。

☐ ①提示条件で参画を検討したい

（今後京都市から個別に連絡・調整させていただく場合があります。）

☐ ②実施種目や実施校などの詳細が決まれば検討したい

☐ ③参画を検討するにあたっての条件提示が不十分である

☐ ④参画は困難である

☐ ⑤その他（ ）

イ アにおいて③と回答された団体にお伺いいたします。検討にあたりどのような条件提示が必要でしょうか。

（提示を要する条件： ）

ウ アにおいて④と回答された団体にお伺いいたします。よろしければ理由をお聞かせください。

（理由： ）

4 貴団体・チームの指導者の中学校部活動指導者としての従事状況・意向

※ 以下の各設問は、貴団体・チームに所属する全ての指導者の方々の現状や意向をお伺いするものですので、お手数お掛けしますが、各指導者の皆様から聞き取った内容を集計し、該当人数を記載いただきますようお願いいたします。

(1) 現在貴団体において、中学校部活動の指導に従事されている指導者とされていない指導者はそれぞれ何人いらっしゃいますか。

☐ ①従事している (人) ⇒ (2) へ

☐ ②従事していない (人) ⇒ (3) へ

(2) 上記(1)で「①従事している」と回答された場合

ア 指導されている競技種目

☐ 団体が対象としている競技種目と同種目 (人)

☐ 団体が対象としている競技種目と異なる種目 (人)

(種目名 (複数回答可:)

イ 主に指導している曜日 (1名につき複数回答可)

☐ 平日 (人)

☐ 土曜日 (人)

☐ 日曜日 (人)

ウ 部活動指導者としての身分

☐ 部活動指導員 (人)

※ 中学校等の部活動において、学校長の監督下で顧問の代わりに
単独で指導・引率ができるもの

☐ 外部指導者 (人)

※ 中学校等の部活動において、部活動の顧問と連携・協力しながら、主に技術
面の指導を行うもの

☐ 教職員 (人)

☐ その他 (人)

☐ 分からない (把握していない) (人)

エ 部活動指導における課題

(複数回答可)

部活動指導にあたって課題と感じている事項がありましたらお教えてください。

☐ 指導力に見合った適正な報酬

☐ 地域スポーツ活動指導と両立可能な柔軟な勤務条件の確保

☐ 部活動顧問との役割・責任分担の明確化

☐ その他 ()

(3) 上記(1)で「②従事していない」と回答された場合

ア 今後中学校の部活動指導に従事することは検討可能でしょうか。

- ☐ ①前向きに検討したい (人)
- ☐ ②条件によっては検討可能 (人)
- ☐ ③条件に関わらず検討困難 (人)
- ☐ ④現段階では分からない (人)
- ☐ ⑤その他 () (人)

イ アにおいて②と回答された指導者の方々にお伺いいたします。従事するにあたって重視される主な条件は何でしょうか。(複数回答可)

- ☐ 指導力に見合った適正な報酬
- ☐ 地域スポーツ活動指導と両立可能な柔軟な勤務条件の確保
- ☐ 部活動顧問との役割・責任分担の明確化
- ☐ その他 ()

ウ アにおいて③と回答された指導者の方にお伺いいたします。よろしければ理由をお答えください。

(理由：)

(4) 京都市における令和5年度部活動指導員募集への協力意向

京都市では、中学生のスポーツ環境の維持・向上と教員の働き方改革の推進に向け、学校部活動の地域移行を進めることと並行して、部活動指導員を拡充することとしており、令和5年度は新たに50名程度を募集する予定です。そこで、(1)の設問で「②従事していない」と回答された指導者の方々に改めてお伺いいたします。

(勤務条件)

- ・勤務時間 週8時間(平日4日、土・日どちらか1日および祝日)
平日2時間程度、休日3時間程度を上限。
- ・指導者謝礼 1時間あたり1,800円/人
- ・交通費支給
※顧問の代わりに単独で生徒の指導や大会の引率等を行っていただくことが基本となります。(顧問と一緒に指導等を行う場合もあります。)
※任用については、学校希望等を調整のうえ、個別にご相談させていただきます。

ア 令和5年度から新たに部活指導員として従事する意向はありますか。

- ☐ ①提示条件で従事することを検討したい (人)
(今後京都市から個別に連絡・調整させていただく場合があります。)
- ☐ ②実施種目や実施校などの詳細が決まれば検討したい (人)
- ☐ ③従事を検討するにあたっての条件提示が不十分である (人)
- ☐ ④従事は困難である (人)
- ☐ ⑤その他 () (人)

イ アにおいて③と回答された指導者の方々にお伺いいたします。検討にあたりどのような条件提示が必要でしょうか。

(提示を要する条件：)

ウ アにおいて④と回答された指導者の方々にお伺いいたします。よろしければ理由をお聞かせください。

(理由：)

5 中学校の部活動の地域移行に係る全般的な内容について

ご意見等がございましたら自由に記載ください。

アンケート調査は以上になります。ご協力いただき、ありがとうございました。